

わたしのたからものカードで伝え合おう

() 組 なまえ_____

領域・形態・時間	話すこと [やり取り] カードづくり15分+交流20分×2時間 (第5～7時)
ねらい	自分のことを1枚のカードにまとめ、What's your treasure? のやり取りで新しいクラスの仲間と知り合う (単元ゴールの本番)。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Choose your treasure.
たからものを1つえらぶ (もの・人・場所・思い出、なんでもOK。ねだんは関係なし)
- 2 Make your card. Draw and write.
カードに絵をかき、4つの文を書く (黒板の型を写してOK)
- 3 Show and tell. My treasure is
ペアでカードを見せながら伝える (1人1分)
- 4 Ask one question, then change partners.
聞く人は質問かあいづちを1つ返す→相手を替えて3人と (時間があれば5人と)

マイ・たからものカード 絵をかいて、文を書こう (写してOK)

たからものの絵	I'm from
	I like
	I'm good at
	My treasure is

つたえ合いメモ 3人のたからものを、絵か日本語でメモ

なまえ	たからもの・とくいなこと

聞く人のことば : What's your treasure? (たからものは何?) / Show me, please. (見せて) / Wow! / Nice! / Me, too! / Why? (どうして?)

ルール

- ①カードは見せながら話してよい ②聞く人は質問かあいづちを1つ返す ③同じ人と2回はやらない

☆レベルアップ! ☆聞いた話を1つ覚えて帰ろう。最後に先生が「心にのこったのは、だれのたからもの？」と聞きます。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・第5時でカードを作り、第6・7時で交流する。作る日と話す日を分けるのが時数リアリズム（1時間に詰めると崩壊する）
- ・◎第5時の見取り（知技）はカードの4文で。写してよい—I'm good at と My treasure is を選び分けて書けているか
- ・中間指導では「Why? と聞かれて1文足せたペア」を紹介する。友だちのたからものを笑わない・くらべないことは、交流の前に必ず確認する

中間指導の進行台本（第6時）

この紙は先生用（1部だけ）：主活動の20分を「1回目 → ことばの補給 → 2回目」のサンドイッチにする先生用の台本。1回目でできなかった質問・言えなかったあいづちを、同じ20分のうちに「できた」に変える——時間は1分も足さない。

20分のサンドイッチ 第6時の主活動20分＝伝え合い①を「サンドイッチ」にする

分	やること	先生のうごき
0-7	伝え合い1回目（1人目→2人目）	1人1分＋質問かあいづち。先生は「質問が出なかったペア」を見つけておく
7-9	あつめる：聞きたかったこと・言えなかったこと	「日本語でOK」と先に宣言する。「言えなかった」を出しやすい空気が1年の土台
9-12	英語にする：下の補給表から黒板へ	近いものを書き写し、全員で2回ずつ声に出す（先生がその場で英語を作らなくてよい）
12-13	自分の質問にもどす	2回目にする質問を1つ決めて、となりに1回言えたら準備完了
13-20	伝え合い2回目（3人目へ）	「質問かあいづちを1つ」をもう一度言ってから始める。2回目は必ず長くなる

ことばの補給表 「言いたかった」を、ここから黒板に書き写すだけ

言いたかったこと	こう言える	ひとこと
いいね！すてきなたからもの	Nice! / Cool!	あいづちが1往復目
わたしも同じ！	Me, too!	あいづちの王様
それは何？（カードの絵）	What's this?	指させば、説明も指さして返せる
どうしてたからものなの？	Why?	5年のヒーロー単元で使った質問——ここでまた活躍
（Why? と聞かれたら）	I like music.	好きの文をゆっくりもう一度＝それが理由（because はまだ使わない）
ほかにはある？	Anything else?	5年レストランのことば——質問にも使える
質問が思いつかない	How about you?	「あなたは？」は質問に困ったときの切り札
もう一回言って	One more time, please.	聞き返しは道具

表にないことばが出たら

「ゲームのキャラの名前」「推しの名前」は、そのままいい——固有名詞は英語にしなくても通じる。文のほうだけ My treasure is ～. にのせれば立派な英語。むずかしい気持ちのことばは「日本語＋ジェスチャーでOK」と返す。

先生へ（この20分の勘どころ）

- ・この20分は主活動そのもの——時間は足さない。第7時の伝え合い②も、この台本と同じ進行で回せる
- ・新しいクラスで「言えなかったと言える」空気を作る回——集まった「言えなかった」をほめる
- ・補給は質問側に寄せた——カードの4文はもう書けている。会話になるかは Why? と How about you? で決まる
- ・はやい子には記録役。先生役は頼まない——本人の練習の機会を奪う